

単元名：比例、反比例の利用

比例を使って場面を考えよう

(全3時間扱い中 第1時)

授業日時 令和3年10月20日(水)第5校時

授業学級 1年A組

授業会場 1年A組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

ともなって変わる二つの数量を見つけだし、比例の関係を用いて問題を解決することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：今から行列に並ぶと何分待つことになるか考える。
- ・活動：比例の関係を使って、何分待つことになるかを考えよう。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 提示問題を把握する。	◇モニターを用いて問題場면을提示する。	10
	【学習問題】今から行列に並ぶと何分待つことになるだろうか。		
	2. 問題を解決するための見通しを立てる。	○「何がわかれば待ち時間がわかりそうでしょうか」 ◇問題場面に数量を追加し、待ち時間がわかりそうかどうか尋ねる。 ○「待ち時間がわかるといえるのはなぜでしょうか」 ○「数量に比例の関係があるといえるのはなぜでしょうか」 ◇比例の関係があるといえる理由を確認する。	
	【学習課題】比例の関係を使って、何分待つことになるかを考えよう。		
展開	3. 比例の関係を使って、表や式、グラフ、言葉の式などから何分待つことになるかを考える。	○「他のものを使っても同じように考えることができますか」 ◇表や式で考えることができた子どもには、グラフや言葉の式など他の方法でも考えることを促す。 ◇比例の関係をどのように使っているのかを尋ねる。	10
	4. 考え方を全体で共有し、比例の関係を用いて問題場면을考えるための様々な方法について確かめる。	◇表、式、グラフ、言葉の式を用いて比例の関係を確かめたことをそれぞれ取り上げ、様々な方法で問題場면을考えることができることを確かめる。それ以外の考え方があった場合、その方法も取り上げる。 ◇いずれの方法でも比例の関係を確かめることができていることと、問題を解決することができることを確かめる。 ◇それぞれの方法は同じことに着目しており、ある方法から他の方法を導くことができることを確かめる。	15
	5. 練習問題に取り組む。	◇練習問題に取り組み、比例の關係に着目すれば同じように問題を解決することができることを確かめる。	10
	【評価】比例の關係を用いて問題を解決している。 (観察)		
終末	6. 本時の学習を振り返る。	○「今日の授業の振り返りを書きましょう」 ◇比例の關係に着目することで問題場면을解決することができること、比例の關係を用いる方法は一つではないこと、様々な方法は互いに関係しあっていることなどにふれている振り返りを取り上げる。	5